

卒園式祝辞 未来へのメッセージ

本日は卒園式に来園頂きありがとうございます。

まず、ひまわり組の皆さん、ご卒園おめでとうございます。

そして、保護者の皆様、今日この日を迎えられたこと、心よりお祝い申し上げます。

さて、ひまわり組の皆さん園長先生から最後の話しをしたいと思います。

アメリカでは、小学校に入学する前に、「マシュマロテスト」をしています。

教室で一人になり、椅子に座りテーブルの上にマシュマロ1つ置かれます。

先生がいいよというまで、マシュマロを食べなければ、もう一つマシュマロをもらえます。

マシュマロテストに合格すると、バッチがもらえます。

自分の食べたい気持ちをどれだけ「待つ」ことができるか？のテストです。

人生において、学校のテストが出来るよりも、どれだけ「待つ」ことができるかによって、人生の生き抜く力が決まります。

では、マシュマロテストとは何か？これは、ルールを守ることです。

これから、時間、学校、社会に支配されます。支配とはルールです。

時間のルール、学校のルール、社会のルール。

ルールを守り、ルールを破らず「待つ」ことが出来れば、人生を生き抜くことができます。

アメリカのスタンフォード大学で研究され、証明されていることの一つです。

ひまわり組の皆さん、たくさんのルールがある中で、園長先生から「ヒント」があります。

それは、1日のスタートとゴールを決めることです。

1日のスタートは何ですか？1日のゴールは何ですか？

1日のスタートはランドセルを背負うことです。そこで、1日のスイッチが押されます。

1日のゴールはランドセルを下ろすことです。毎日同じ事を繰り返します。

いや、それは違うよと言う人もいます。1日は24時間です。

一つ考えてほしいことは、学校と家の「環境」は違います。

学校には、黒板、机、椅子、そして先生がいます。家には、学校と同じ黒板、机、椅子はありません。先生もいません。

「環境」が変わると、「行動」が変わります。「学校で出来た事」と「家で出来た事」は違います。学校にいるときの「顔」と家にいるときの「顔」は違います。

園長先生は、保育園にいるときの顔も好きですが、家にいるときの顔は、もっと「可愛い」ものだと思います。家族がいるときの「顔」。自分の家にいるときの顔は、「安心」して、保育園のことなんか忘れてしまいます。

もっとも、「出来る」と「一度で出来る」は同じではありません。

「学校」と「家」は同じではありません。

黒板の前で出来なかったことが、家では出来たかもしれません。

そこで必要になるのが、どれだけ「待つ」ことができるか？言いたいこと、やりたいこと、欲しいものを、どれだけ

「待つ」ことができるかに生きる力が試されます。

ランドセルのルールを発案した人はわかりません。学校にはランドセル、制服のルールがあります。自然にスタートさせるには、1番いい方法かもしれません。

時々、ランドセルが嫌いになります。ランドセルが好きになるときもあります。

ランドセルは6年しか背負うことができせん。

Better late than never 「遅れても来ないよりは良い」

遅刻しても、待っている人が来ないより来た方がいい。

友達がこないより、来た方がいい。

家族がこないより、来た方がいい。

「ヒント」は、スタートとゴールを決める事です。1日のスタートとゴール。小学校のスタートとゴールを決めてください。スタートとゴールを変える事もできます。

ただし、人生は時間が限られています。少しでも早くスタートしゴールの回数を増やすことです。

園長先生が学んだことの「答え」はスタートとゴールを繰り返し続けることです。

それが、人生をもっとも豊かにすると信じています。

小学校にあって、自分らしいルールでスタート出来ることを期待しています。

結びに、保護者の皆様、無事卒園を迎えることができたのも、たくさんの支えと、たくさんのヒントを頂けたからです。これからも、卒園児を応援し続けます。何かあればいつでも声をかけて頂けたらと思います。

本日のご卒園、誠におめでとうございました。

令和4年3月5日

光田寺保育園

園長 福士 敬博